



2024年3月期 決算説明資料

東証スタンダード・福証 証券コード8596

2024年6月

株式会社九州リースサービス

- 1** 2024年3月期 決算概要
- 2** セグメント別の状況
- 3** 2025年3月期 業績予想

1

2024年3月期 決算概要

2024/3期 決算のポイント

売上高は335億円（前期比9.0%減）、経常利益は45億円（前期比15.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は30億円（前期比48.0%減）で着地

営業資産残高は、1,820億円（前期末比11.5%増）と着実に増加

- リース・割賦セグメントは、環境関連分野向けなどの新規取扱高が増加いたしましたが、前年同期において賃貸資産（航空機）の売却収入を計上していたことにより、売上高は前期比**10.0%減**、営業利益は**55.9%減**、営業資産残高は前期末比**8.3%増**
- ファイナンスセグメントは、営業資産の積み上げに伴い利息収入等が増収となり、売上高は前期比**13.1%増**、営業利益は**11.7%増**、営業資産残高は前期末比**26.7%増**
- 不動産セグメントは、不動産販売収入の減少により、売上高は前期比**11.4%減**となったものの、西日本不動産開発（株）のグループ化により、賃貸収入や仲介手数料収入が増加し、営業利益は前期比**69.3%増**、営業資産残高は前期末比**6.1%増**
- フィービジネスセグメントは、売上高は前期比**0.4%減**、営業利益は**20.9%増**
- 環境ソリューションセグメントは、売上高は前期比**2.2%増**、営業利益は**43.9%増**。太陽光発電所の新規取得により営業資産残高は前期末比**12.5%増**

2024/3期 決算概要

前期における賃貸資産（航空機）の売却による一過性収益及び特別利益の投資有価証券売却益がなくなった反動減により減収・減益となるものの、ベース部分は着実に成長。上方修正後の計画に対しても上回って着地

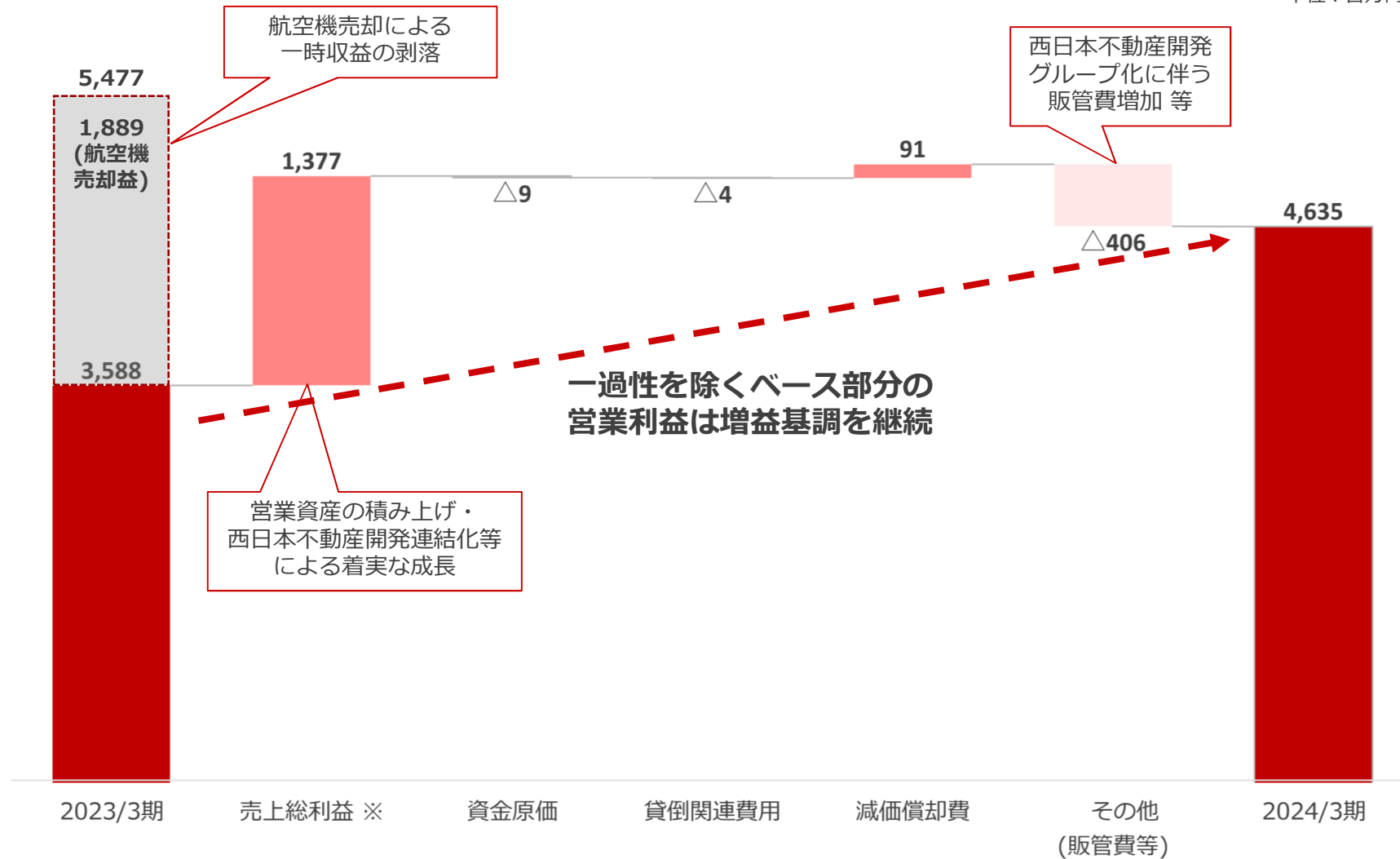
単位：百万円

	2023/3期		2024/3期			
	実績	構成比	修正計画 (2024/2/8)	実績	構成比	増減率
売上高	36,807	100.0	33,000	33,508	100.0	△9.0
営業利益	5,477	14.9	4,500	4,635	13.8	△15.4
経常利益	5,422	14.7	4,500	4,593	13.7	△15.3
当期純利益※	5,862	15.9	3,000	3,048	9.1	△48.0

※親会社株主に帰属する当期純利益、以下同じ

営業利益の増減要因

単位：百万円



※資金原価、減価償却費を除く

貸借対照表

リース債権及びリース投資資産、割賦債権、営業貸付金、賃貸不動産、投資有価証券など営業資産の増加により資産合計は178億円の増加

負債についても同様に増加、自己資本比率は△0.8ポイントと20%前後で推移 単位：百万円、%

	23/3期末	24/3期末	増減額
流動資産	132,861	142,998	10,137
現金及び預金	6,095	5,087	△1,008
割賦債権	22,773	25,756	2,983
リース債権及びリース投資資産	56,067	60,265	4,198
営業貸付金	32,900	41,262	8,362
販売用不動産	14,467	10,207	△4,260
固定資産	42,652	50,399	7,747
有形固定資産	35,369	39,617	4,248
賃貸不動産(純額)	25,806	30,356	4,550
無形固定資産	384	548	164
投資その他の資産	6,898	10,234	3,336
投資有価証券	5,418	8,639	3,221
資産合計	175,514	193,398	17,884

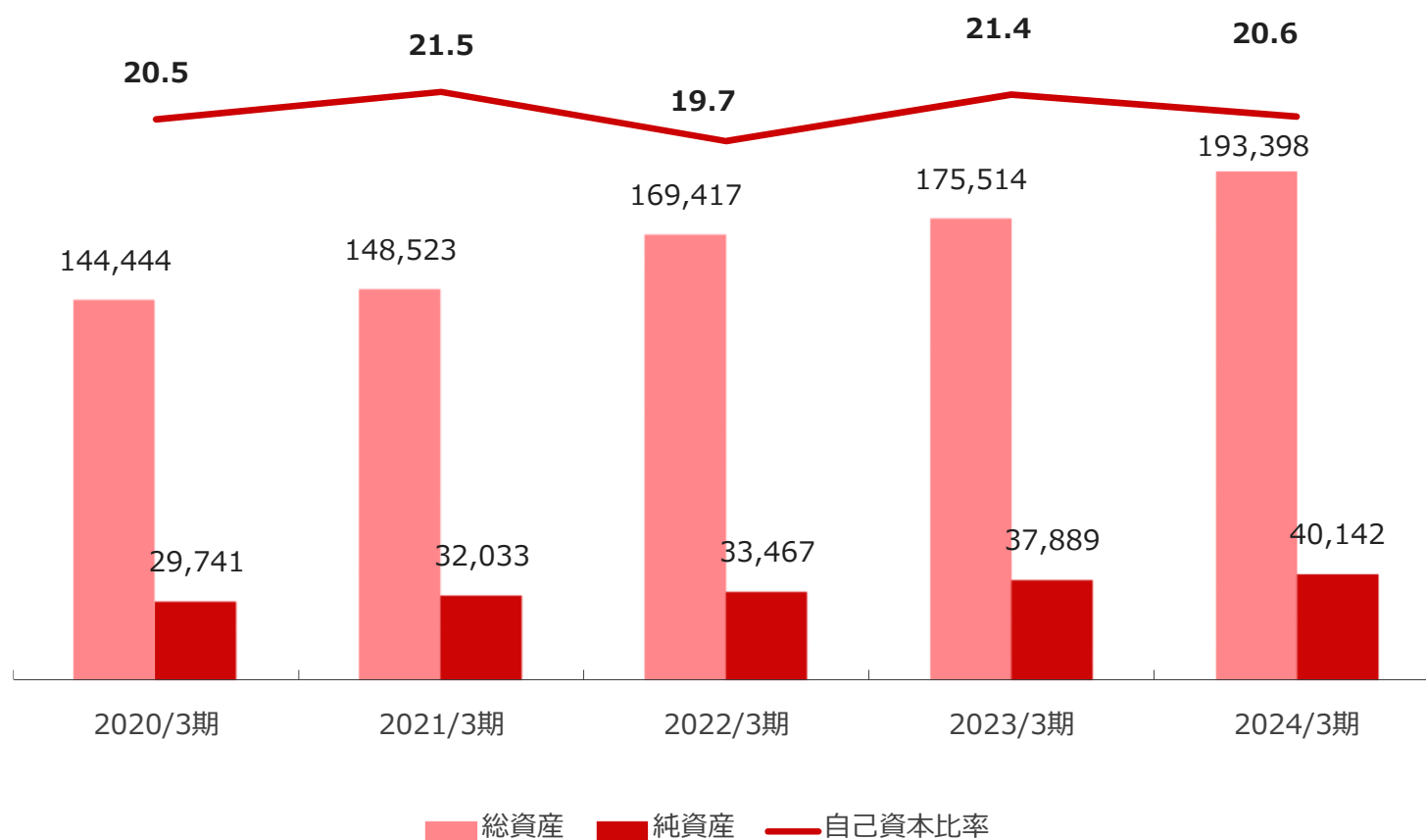
	23/3期末	24/3期末	増減額
流動負債	40,916	55,179	14,263
短期借入金	29,545	44,998	15,453
固定負債	96,708	98,076	1,368
社債	1,800	9,300	7,500
長期借入金	84,879	78,064	△6,815
負債合計	137,624	153,256	15,632
純資産	37,889	40,142	2,253
負債純資産合計	175,514	193,398	17,884
自己資本比率	21.4	20.6	△0.8

総資産・純資産・自己資本比率の推移

■ 営業資産の増加により、総資産は年々増加

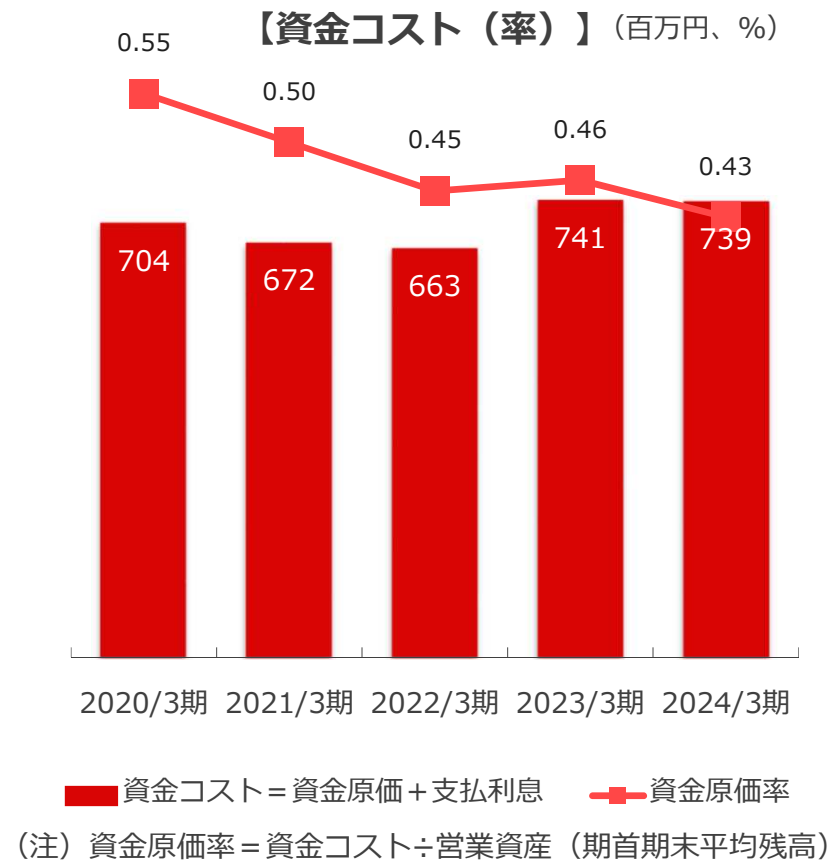
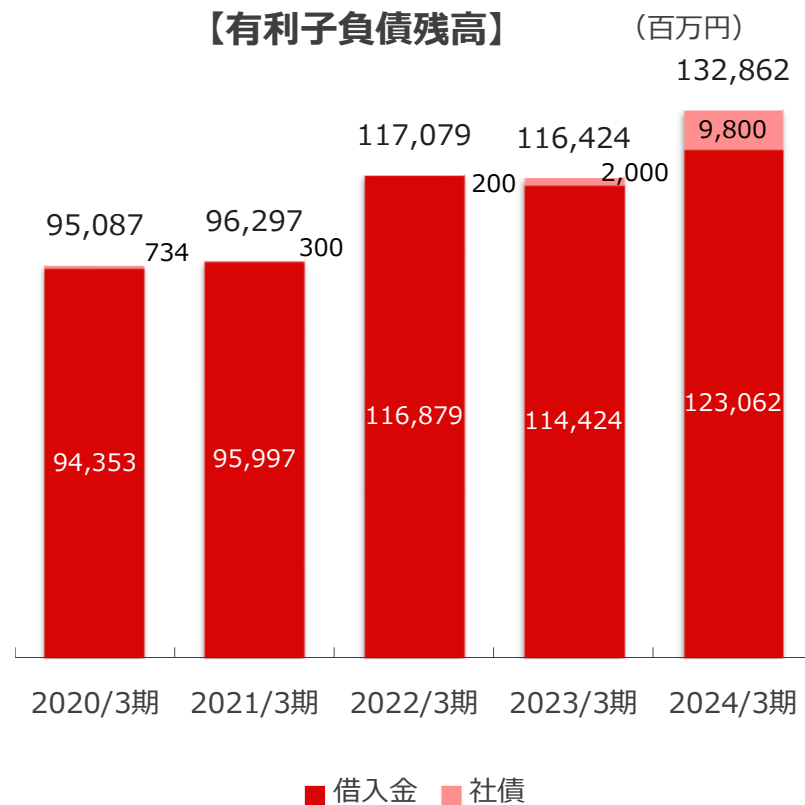
■ 自己資本も一定水準を維持しつつ、資本収益性向上と財務健全性確保の併進を図る

(百万円、%)



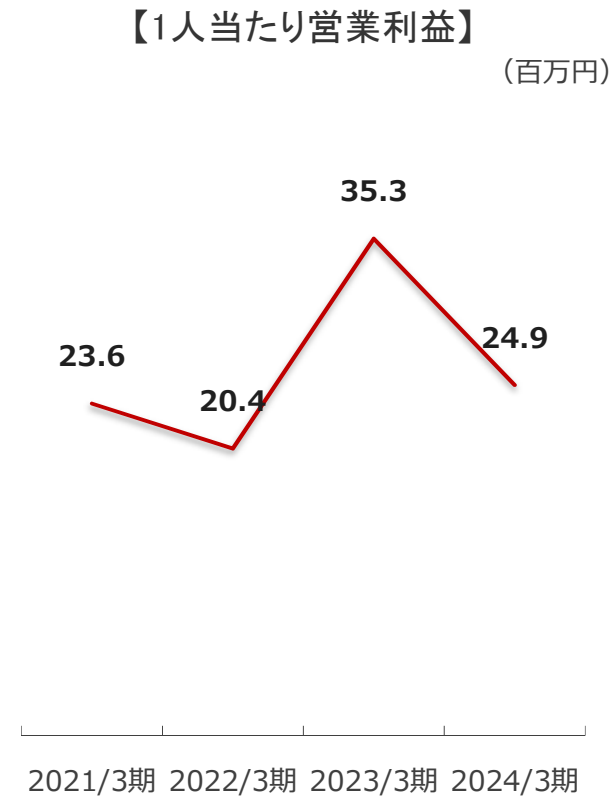
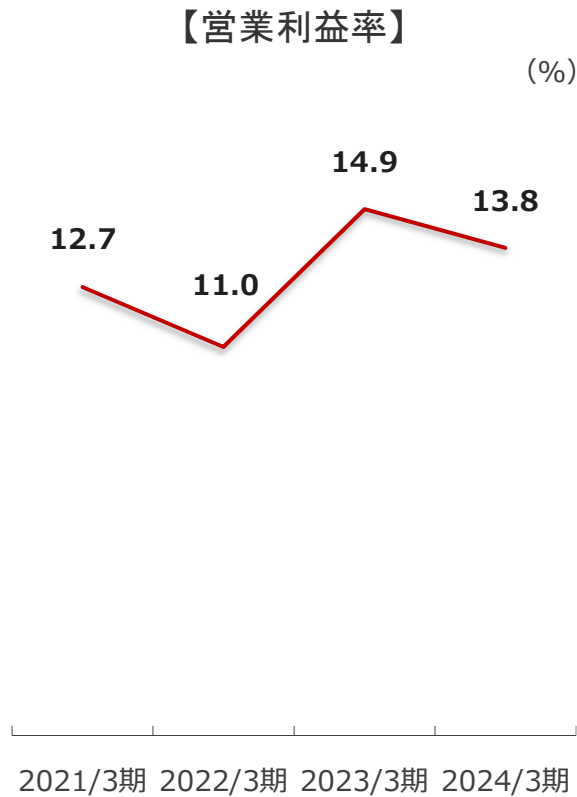
調達状況

- 有利子負債残高は、営業資産残高の増加に伴い前期末比で増加（普通社債を発行）
- 資金原価率は、効率的な資金調達により低水準かつ低下トレンドを維持



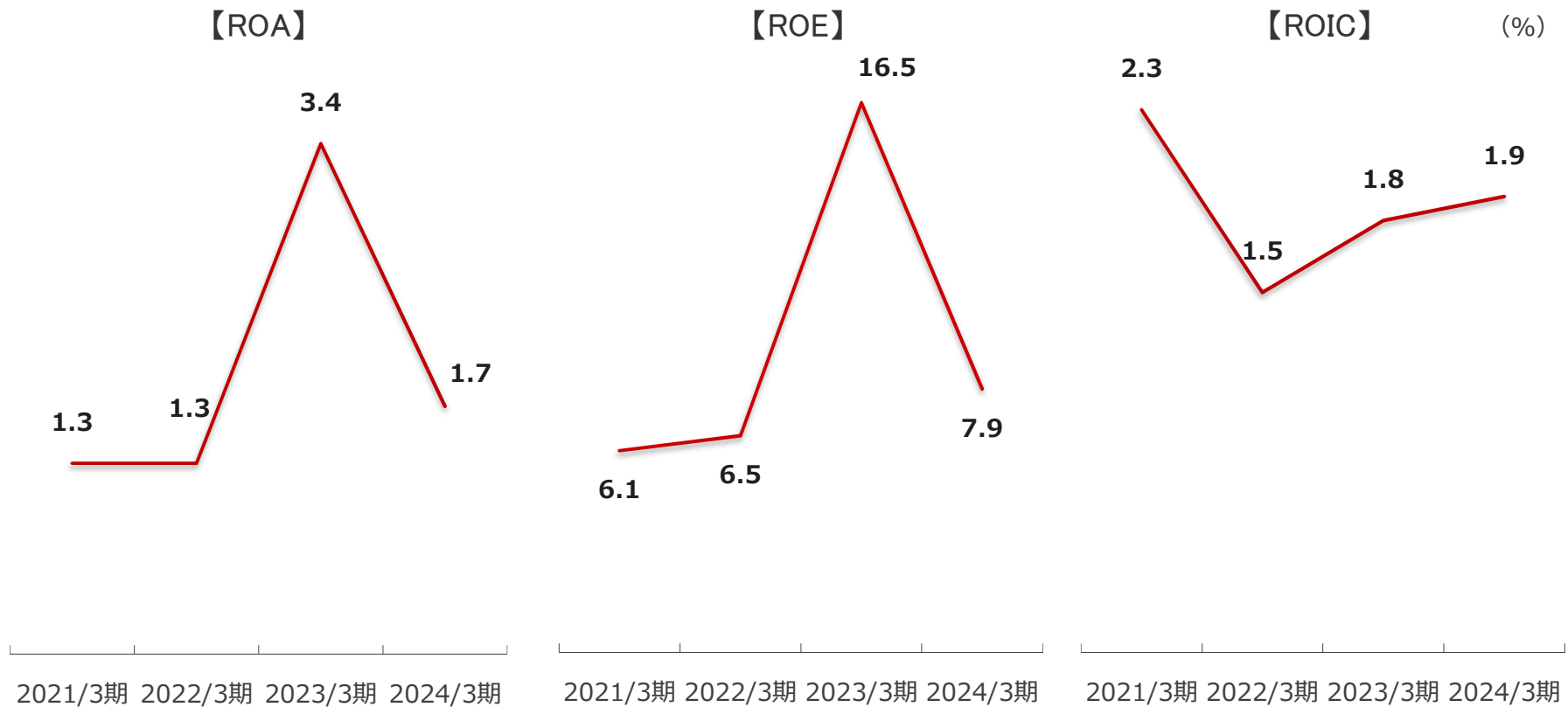
収益性・生産性指標の推移

■ 営業利益率は10%を超える水準で推移し、高い利益率を確保



効率性指標の推移

ROA、ROE、ROICについても上昇傾向で推移（2023/3期は一過性要因）

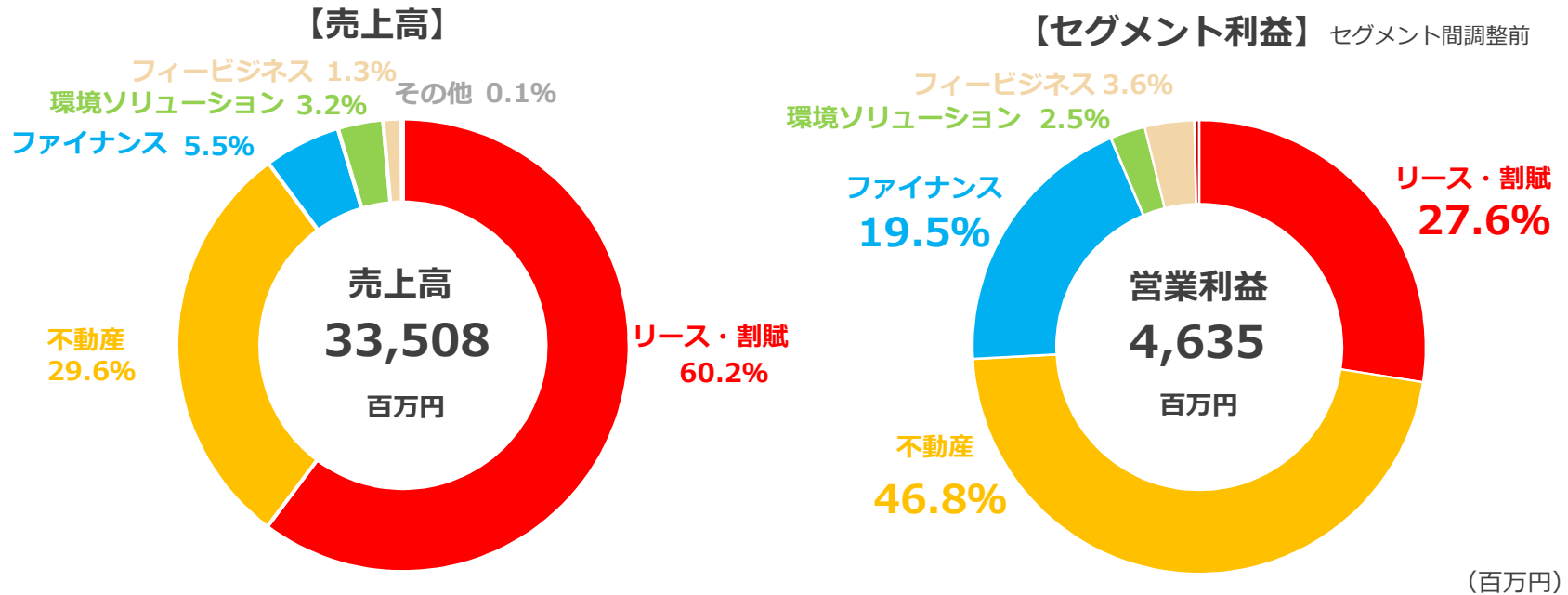


2

セグメント別の状況

事業ポートフォリオ (2024/3期)

リースを中心とした、5つのセグメントでのバランス経営

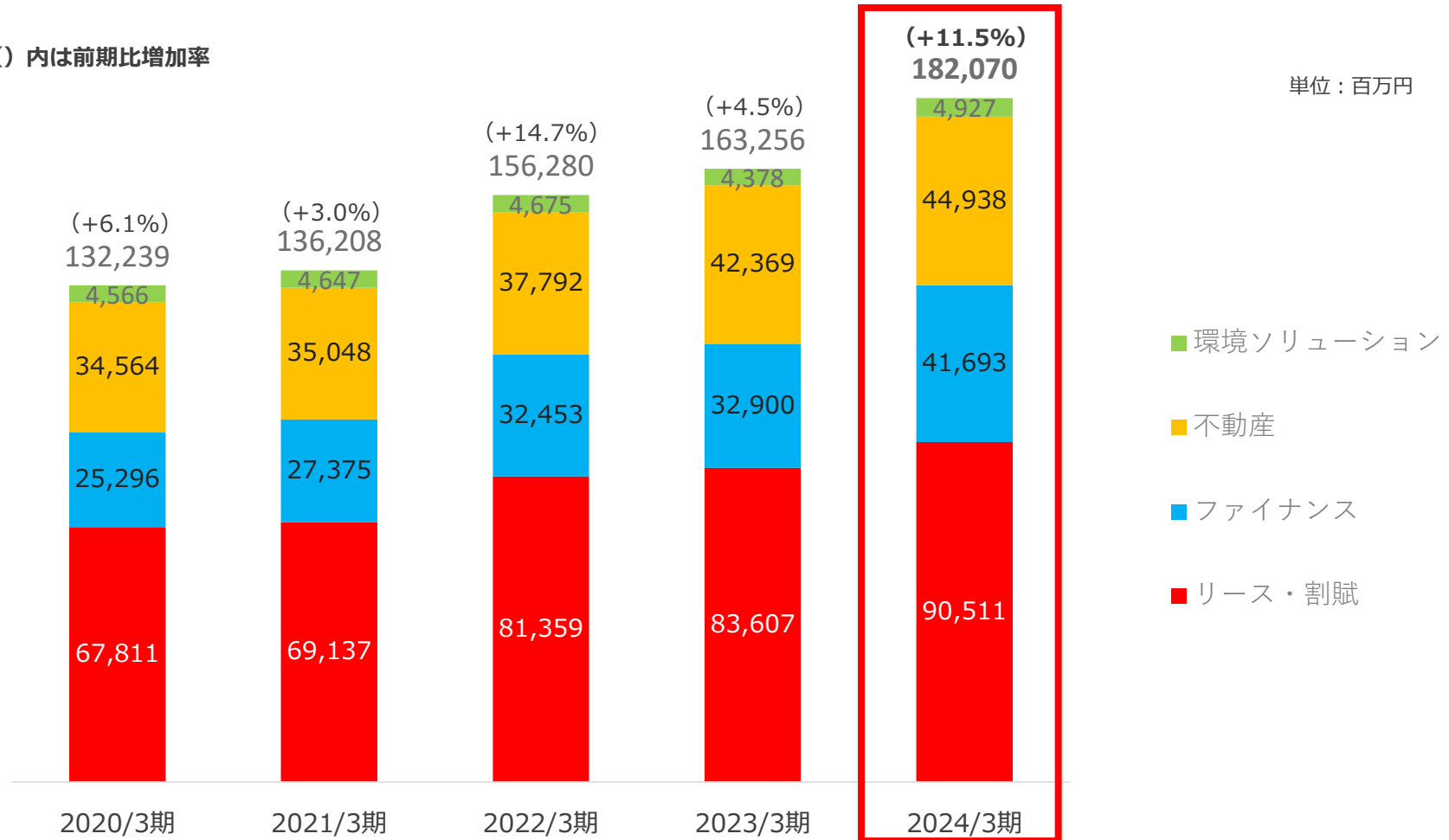


セグメント	事業内容	売上高		セグメント利益	
		金額	前期比	金額	前期比
リース・割賦事業	各種機械設備、航空機、建物などのリース及び割賦販売	20,180	△10.0%	1,483	△55.9%
不動産事業	不動産賃貸、売買、仲介事業等	9,935	△11.4%	2,518	+69.3%
ファイナンス事業	法人向け融資、プロジェクトファイナンス等	1,834	+13.1%	1,050	+11.7%
環境ソリューション事業	売電、LEDレンタル等	1,087	+2.2%	135	+43.9%
フィービジネス事業	自動車リースの紹介、生命保険の募集、損害保険代理業等	437	△0.4%	191	+20.9%

営業資産の推移

- 営業資産残高は、全セグメントとも増加基調で推移
- 中計目標（1,660億円）に対して1,820億円の実績となり目標達成（達成率109.7%）
引き続き、リスクと収益性のバランスを考慮した良質な営業資産の循環を図る

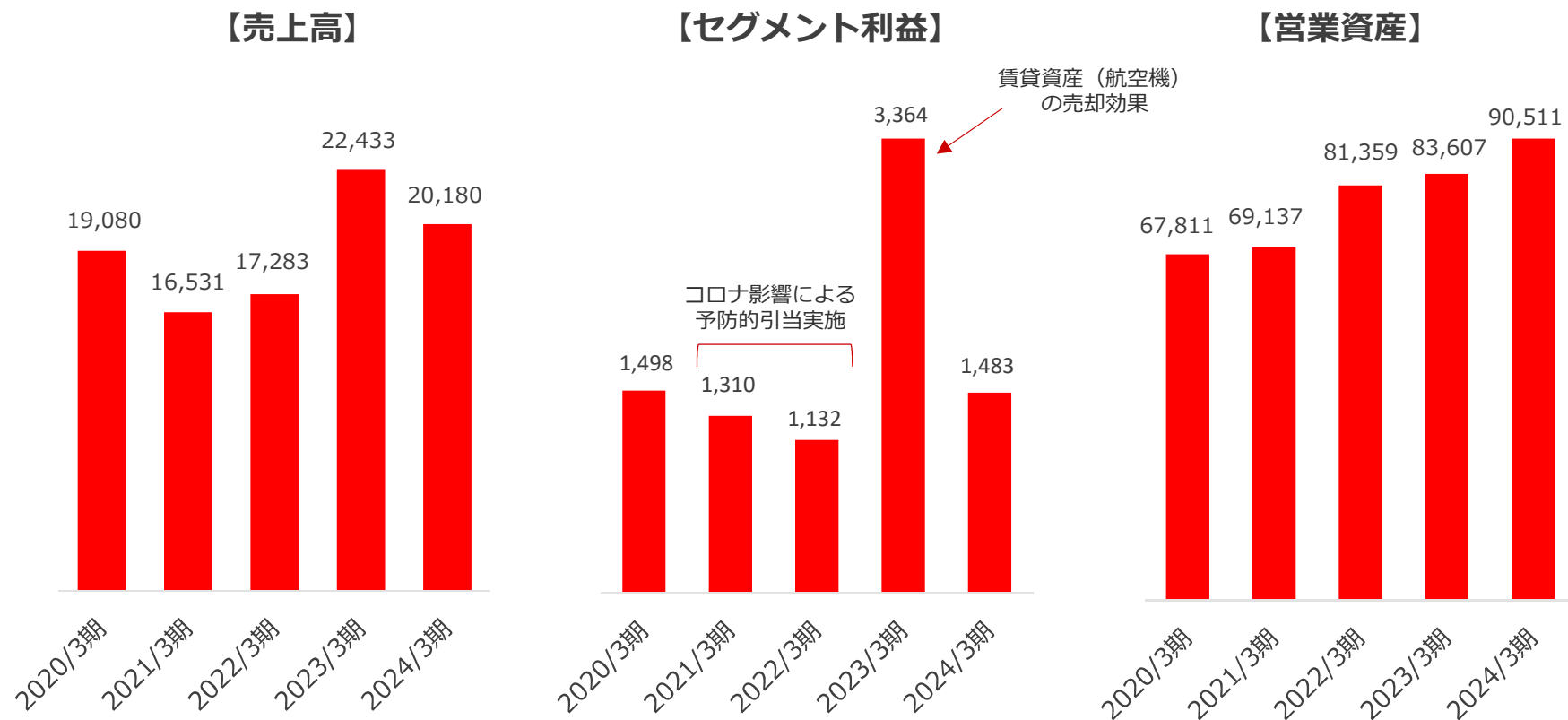
※（）内は前期比増加率



セグメントの状況（リース・割賦）

再生可能エネルギー関連や省エネ機械設備などの環境関連分野向けの取組みが伸びたほか、建物リース形式での開発案件にも取組み、営業資産は順調に拡大

単位：百万円

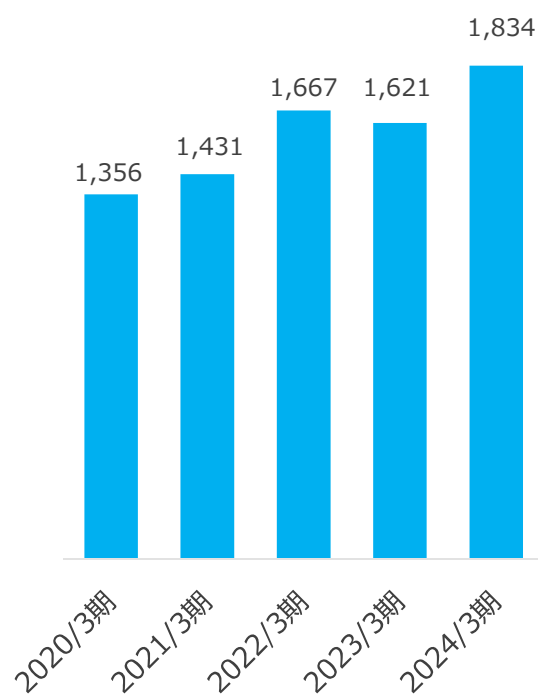


セグメントの状況（ファイナンス）

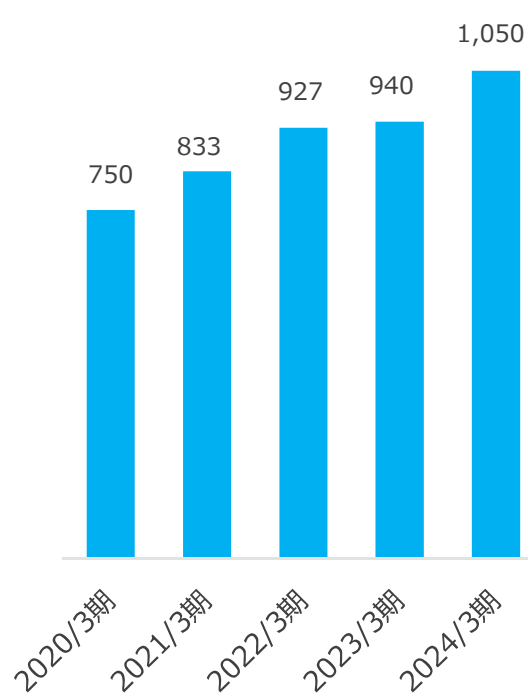
不動産開発資金等の融資実行高が伸長。営業資産の積み上げに伴って、利息収入等が増加しており、売上高・利益・営業資産残高ともに、増加トレンドで推移

単位：百万円

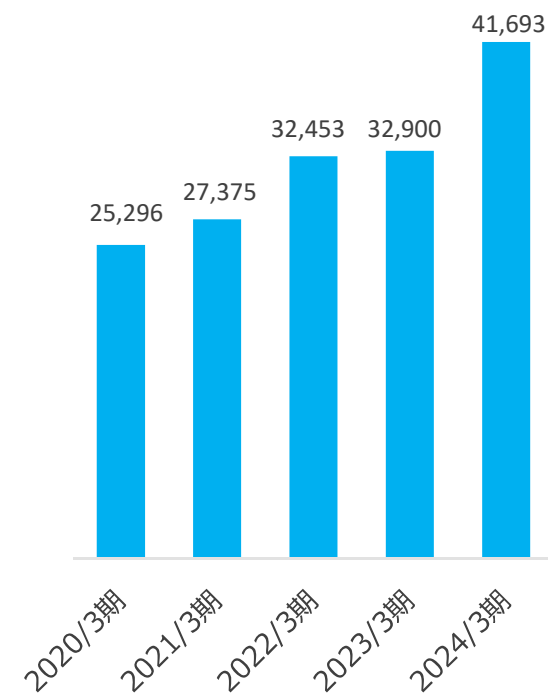
【売上高】



【セグメント利益】



【営業資産】

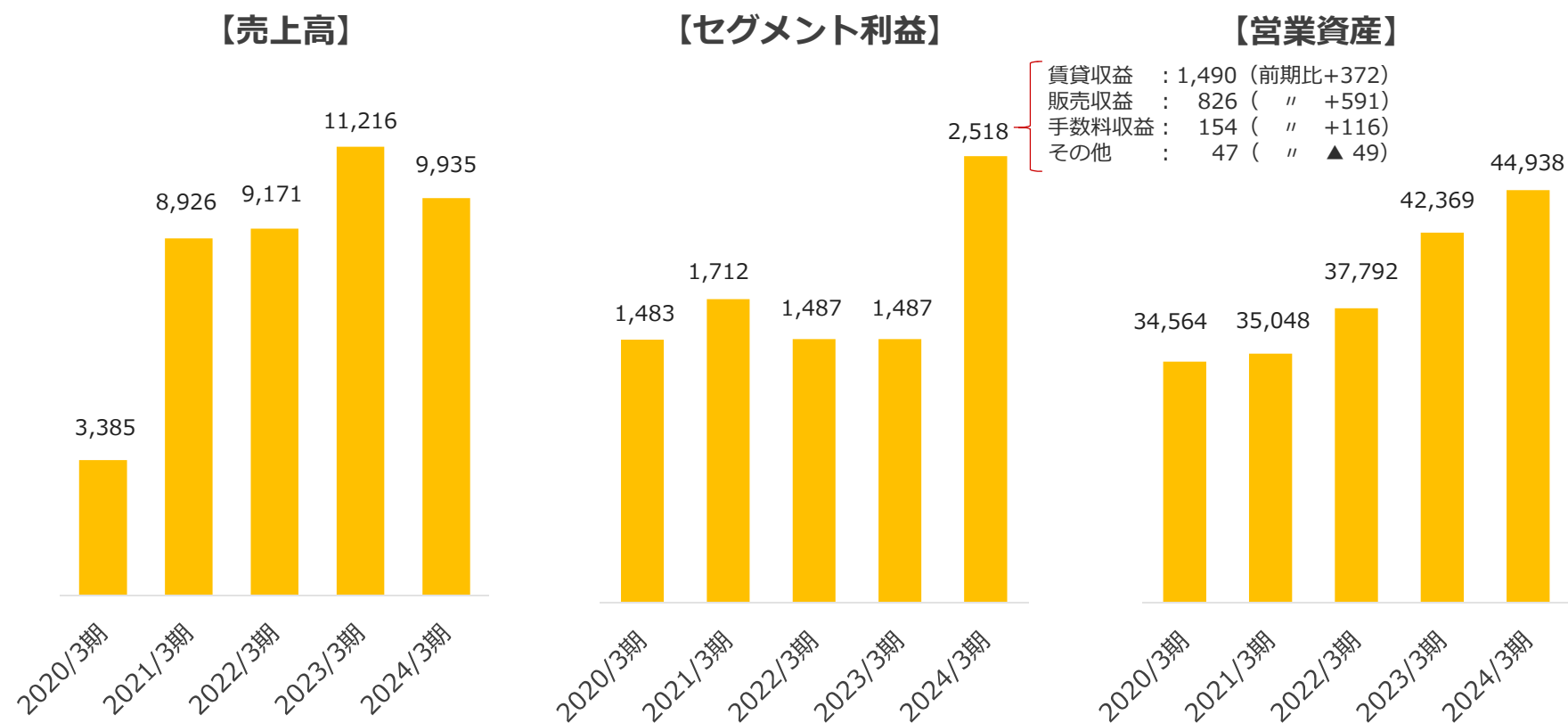


セグメントの状況（不動産）

連結子会社における不動産売却が好調に推移したほか、昨年グループ化した西日本不動産開発の業績貢献等により大幅増益の実績。不動産市況を勘案しながら適切に資産の入替えを実施し、営業資産も増加トレンドで推移

※各期における大型不動産販売の有無により売上高や利益が変動する傾向あり

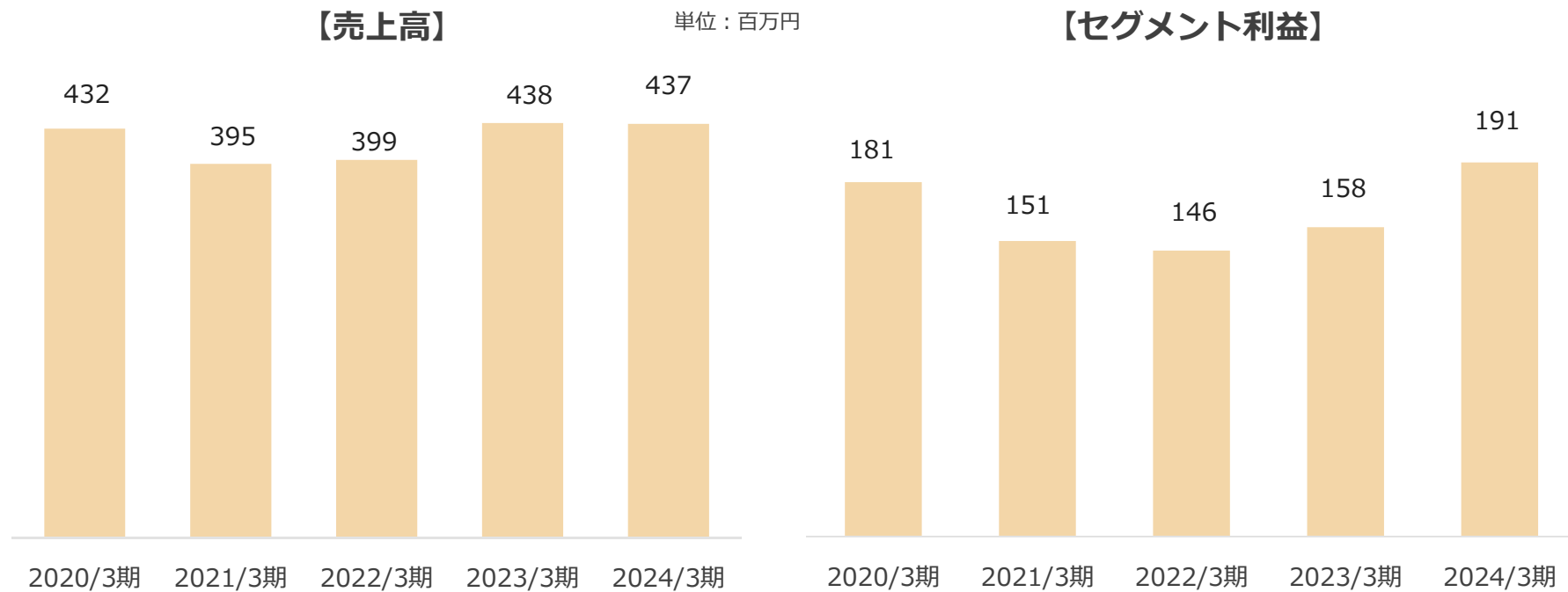
単位：百万円



セグメントの状況（フィービジネス）

フィービジネスセグメントは、主にカーリース、生命保険、損害保険の代理店業務を行っており、売上・利益とも堅調に推移

単位：百万円

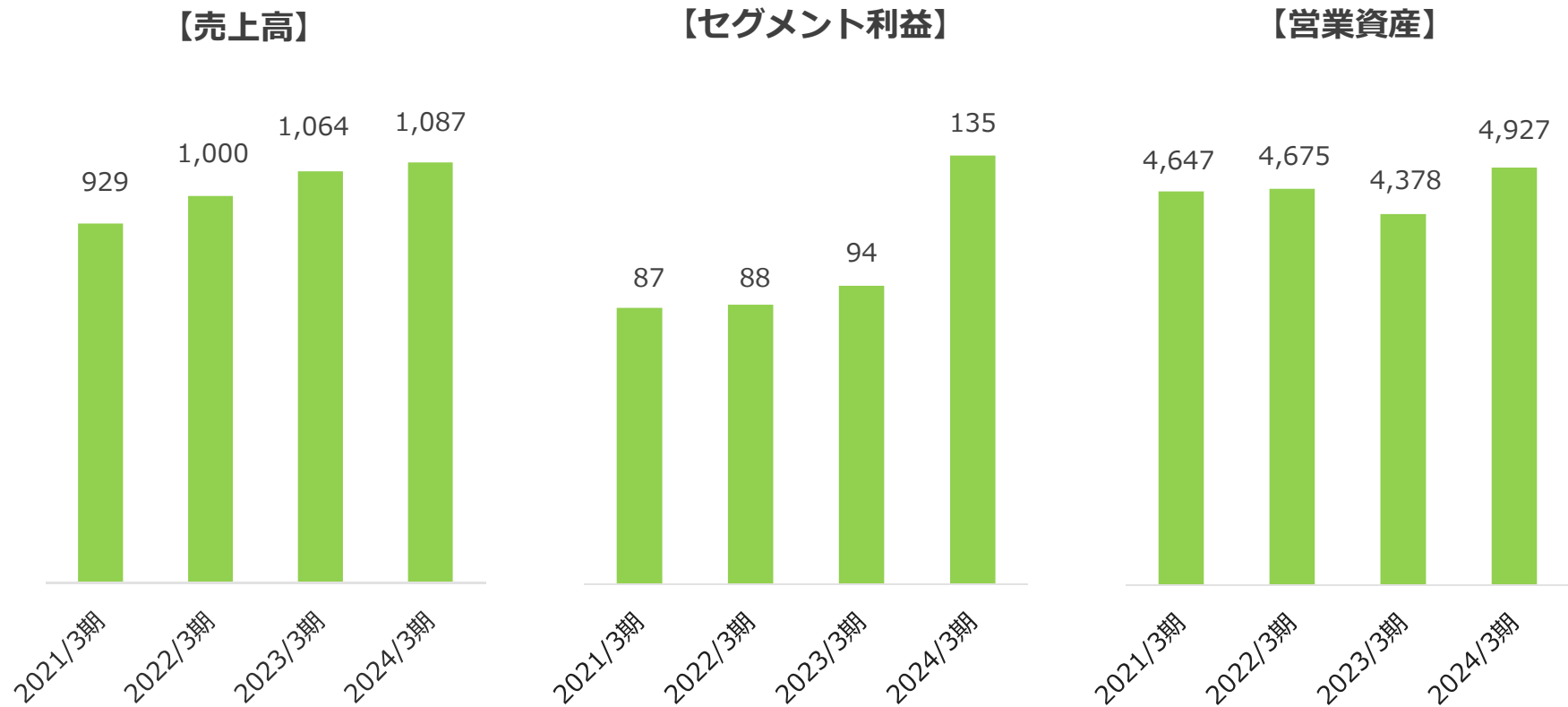


(注) 2019/3期以前は環境ソリューションセグメント調整前

セグメントの状況（環境ソリューション）

2020年4月より、SDGsに貢献する環境関連ビジネスへの取り組みを踏まえ、従来その他に区分していた「売電事業」、「リース・割賦」に含まれていた「LEDレンタル事業」を「環境ソリューション」に変更

■ 太陽光発電所の新規取得により、売上高、利益、営業資産とも増加基調で推移



3

2025年3月期 業績予想

2025/3期 業績予想のポイント

- 金利上昇リスクや信用リスクの増大によるコスト増が懸念される中でも、営業資産の積み上げ・入替えによるベース収益の拡大により、増収増益を確保
- あわせて、新中計1年目として将来の収益源となる営業資産の充実や新規ビジネスの拡大に注力し、持続的成長に向けた足場固めに取組む

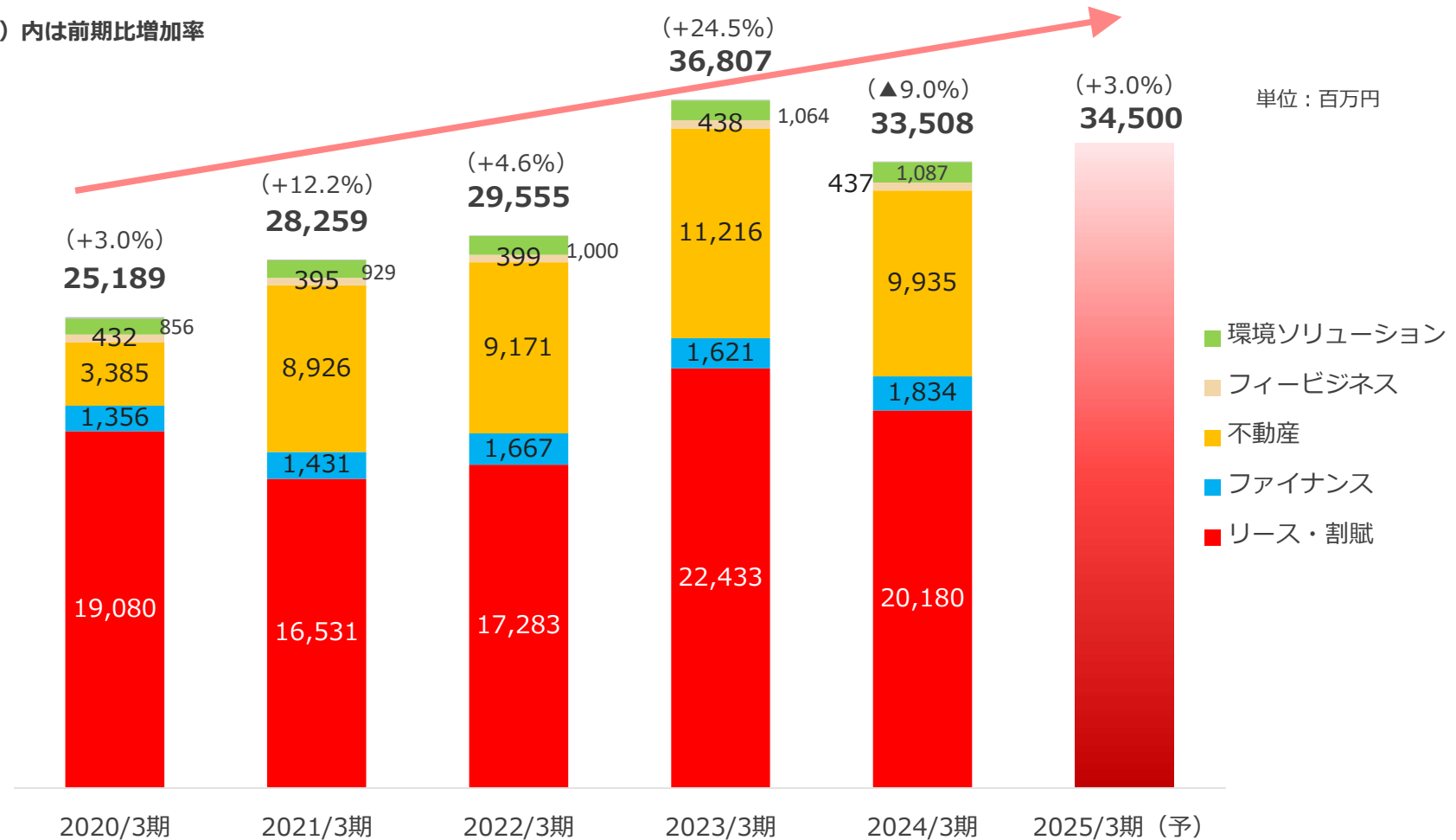
単位：百万円

	2024/3期実績		2025/3期予想		
	金額	構成比	通期予想	構成比	前期比
売上高	33,508	100.0	34,500	100.0%	3.0%
営業利益	4,635	13.8	4,800	13.9%	3.5%
経常利益	4,593	13.7	4,700	13.6%	2.3%
当期純利益	3,048	9.1	3,200	9.3%	5.0%

業績予想・・・売上高

2025/3期は、環境面の後押しと営業資産の着実な積み上げにより、中期的に増収トレンドでの推移を予想

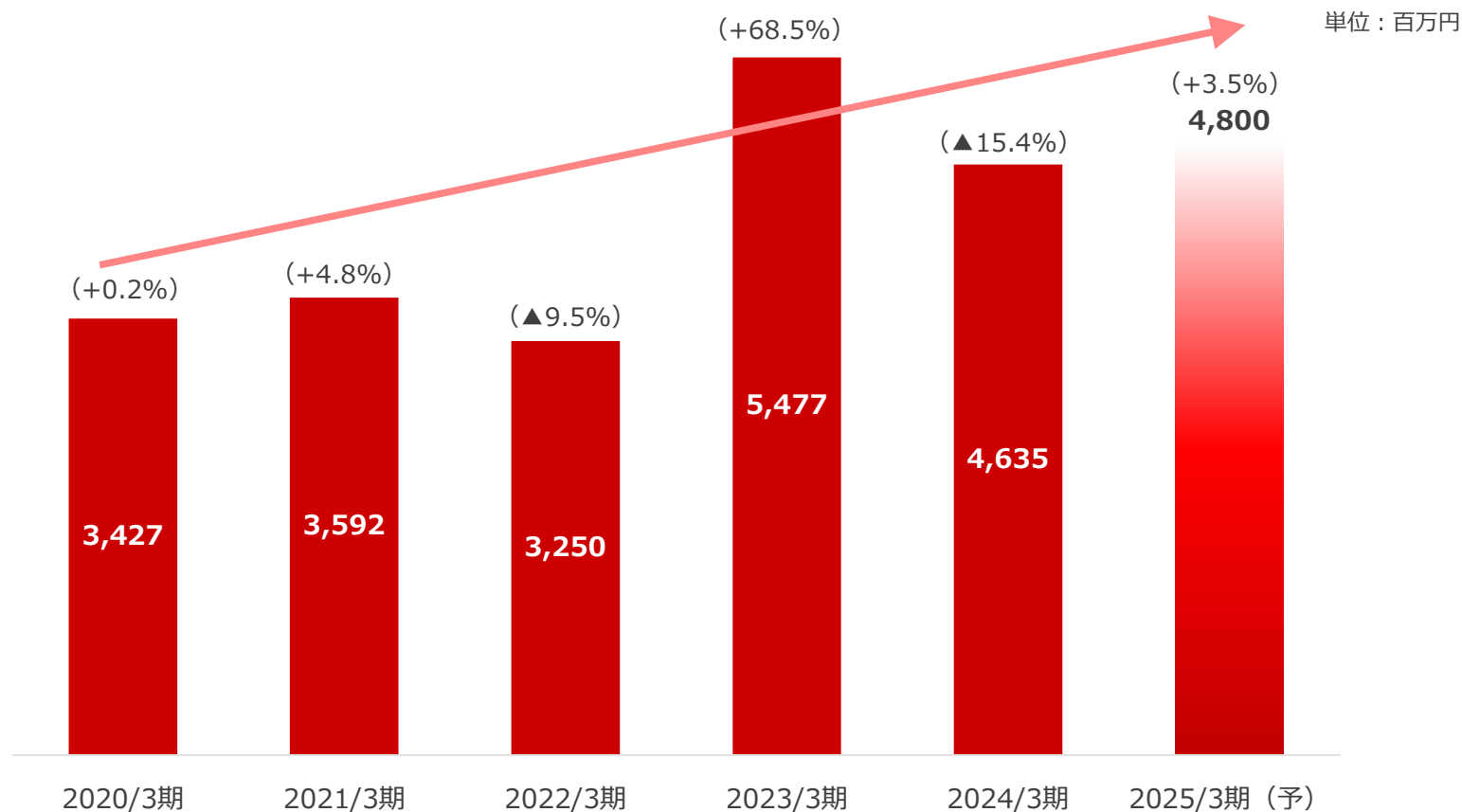
※ () 内は前期比増加率



業績予想・・・営業利益

2024/3期は、前期の反動減により減益となるも、2025年3月期は営業資産積み上げによるベース収益の成長継続により、増益トレンドでの推移を予想

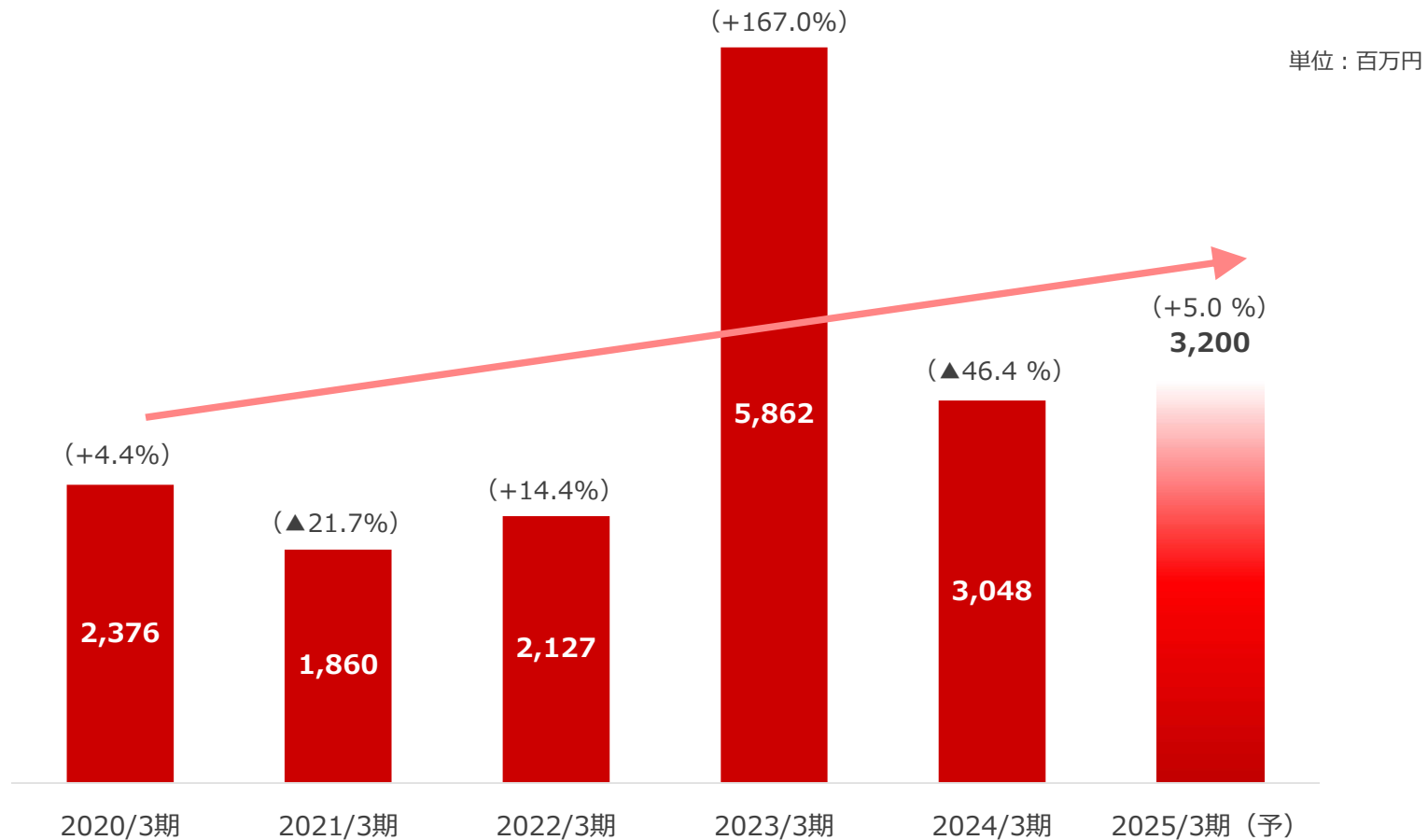
※ () 内は前期比増加率



業績予想・・・当期純利益

特別損益は見込んでおらず営業利益と同様の伸びを想定し当期純利益についても増益予想

※ () 内は前期比増加率

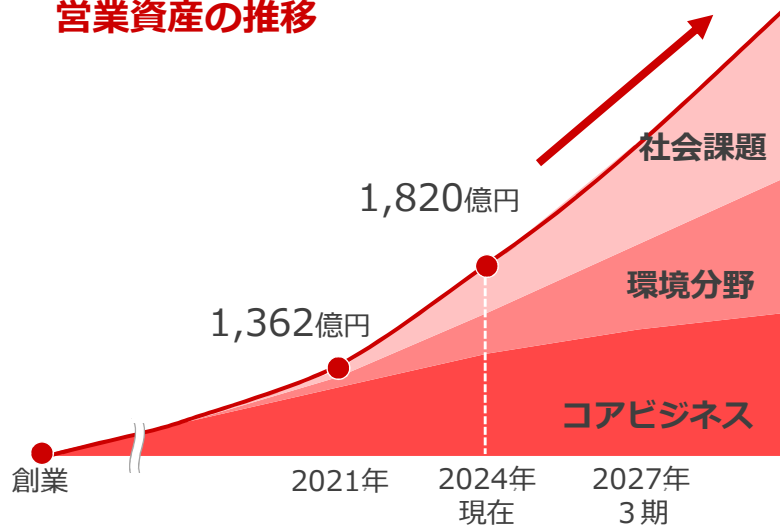


中期経営計画の概要 財務目標・非財務目標

■ 毎期増収増益を目指すとともにROA・ROEを維持・向上させていく

■ 収益性を意識した営業資産の循環とあわせて、社会課題解決起点での新規ビジネス拡大により目標達成を目指す

営業資産の推移



	2024/3期 実績	2027年 数値目標
当期純利益	30億円 ➡	40億円
ROA	1.65% ➡	1.75%超
ROE	7.88% ➡	8.00%超

■ 自らが“挑戦”“創造”“成長”できる働きがいのある組織へ

エンゲージメント

エンゲージメントスコア
2024年時点
(Cランク64.7点)
A ランク ⇒2027年度
(70点以上達成)

仕事に対する自発的貢献意欲（活力、熱意、没頭）を測定し、社員一人ひとりが自律的に挑戦できる環境をつくる

人財育成投資

3カ年人材育成投資
2024年度⇒2027年度
120%
(2024年度対比)

組織戦略におけるリスクリングの促進や個人のキャリア形成に向けた教育・育成支援

ダイバーシティ

女性管理職比率
22%超
2024年度 (11.3%)
⇒2027年度

組織戦略における組織体制の強化や一般職の総合職登用におけるモニタリングとして指標を設定

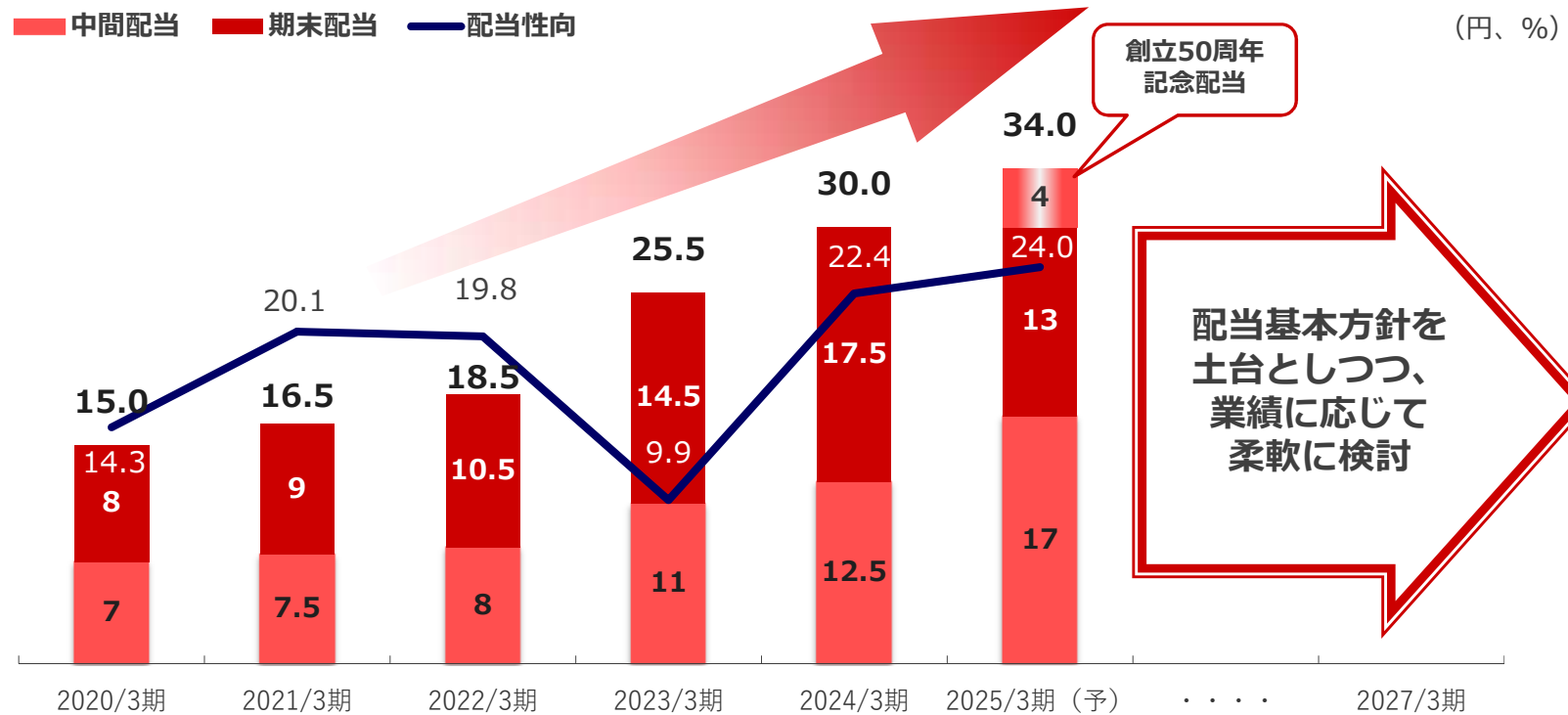
健康経営

男女育休取得率
100%
2024年度 (100%)
⇒2027年度
を維持する

男女の育休取得は100%従業員健康増進により、生産性の向上や組織の活性化につなげる

株主還元方針

配当による株主還元を基本とし、利益成長に合わせて還元水準の適切な対応を図る



【お問い合わせ先】

株式会社九州リースサービス 総合企画部

TEL 092-431-2915

ホームページ : <https://www.k-lease.co.jp/>

■本資料の注意点

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が予測したものです。実際の業績は、様々なリスク要因や不確実な要素により、業績見通しと大きく異なる可能性があります。
- 本資料中の情報によって生じた影響や損害については、当社は一切責任を負いません。
- なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複写複製、または転載等を行わないようお願いいたします。